

報告書（平成 24 年度）

提出者 秋津 元輝

提出年月日 2013 年 5 月 1 日

【プロジェクト名】

和文

コミュニティ・中間圏研究会

英文

Research Group on Community and Intermediate Sphere

【メンバー構成】

研究代表者 秋津元輝

幹事 芦田裕介

メンバー 秋津元輝、森本一彦、渡邊拓也、平田知久、川端浩平（関西学院大学専任研究員）、中田英樹（明治学院大学特任助教）、中山大将（日本学術振興会特別研究員）、平井芽阿里（日本学術振興会特別研究員）、山本達也（日本学術振興会特別研究員）、越智正樹（琉球大学専任講師）、柴田悠（同志社大学任期付准教授）

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等
調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等
その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

第 7 回研究会（2012 年 6 月 2 日 農学研究科総合館）

シリーズ本出版に向けた検討をおこなった。

報告者：

1. 柴田悠「多世代コミュニティの活性化条件—国内事例の分類と比較から—」
2. 川端浩平「ホームタウンのホームレス—地域社会の安心・安全のとりくみにおいて生じるジレンマ」
3. 中山大将「日本人コミュニティから帰国ネットワークへ—サハリン残留日本人の永住帰国運動—」
4. 平井芽阿里「コミュニティの生成と再編成—沖縄県宮古島西原の祭祀組織を事例に」
5. 越智正樹「普遍と特殊の間の「当事者」たち—ネット原告団と地元の実態—」
6. 芦田裕介「モノと人の関係の再編—農業機械と農業者の関わり方の変遷—」
7. 平田知久「Internet Cafes Made Us Realize Our Dreams and Potential? —マニラのインターネットカフェにおける親密圏／公共圏／中間圏」
8. 渡邊拓也「中間圏の変容：＜共＞から＜社交＞へ—バヴァルダージュ空間を中心に」

論文参加：中田英樹（「多文化グアテマラ現代社会と先住民女性—家族再生産労働と観光生産労働との関係の再検討から—」）、山本達也（「演奏空間から考える共同性—チベット難民社会に関する一断章」）

第 8 回研究会（2012 年 11 月 11 日 文学研究科新館）

シリーズ本出版に向けた検討をおこなった。

1. 秋津元輝「序章の内容と編集方針」
2. 渡邊拓也「編集方針に関連して」

3. 柴田悠「多世代コミュニティの可能性と課題—国内諸事例の巨視的比較と微視的記述から—」
 4. 平井芽阿里「祭祀組織の生成と再編成—沖縄県宮古島西原のナナムイを事例に」
 5. 中山大将「同前」
 6. 芦田裕介「モノと人の関係の再編—農業機械をめぐるユーザーとメーカーの交渉—」
 7. 山本達也「同前」
 8. 平田知久「同前」
 9. 中田英樹「同前」
 10. 越智正樹「同前」
- 論文参加：川端浩平「同前」

【通信欄】